



活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

井上重久 No.27 だより

平成25年1月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 梅本 一由 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032



迎春

生活者視点での政治を!

ご家族お揃いで健やかなお正月をお迎える事とお慶び申し上げます。昨年は、議会活動・地域活動などに対して、皆様よりご支援・ご協力を賜り厚くお礼申あげます。特に、師走の総選挙は、市議会の開会中と重なり超短期決戦のなかでの選挙戦を展開しました。民主党に対する逆風が吹くなかで、「高木義明」は小選挙区で惜敗をしましたが、九州比例区で復活当選を果たしV8を達成しました。

この勝利は、組織の力、支援者・諸団体の力、運動員の結束力の賜物であると感じました。新国会議員に対しては、納税者・生活者視点での政治を期待いたします。

将来を見据えての活動を!

長崎駅周辺においては、九州新幹線西九州ルートの建設計画(国)、JR長崎本線連続立体交差事業(長崎県)および長崎駅周辺土地区画整理事業(長崎市)が進められ、都市基盤施設を整備し総合的なまちづくりが行なわれています。

今後、駅周辺のまちづくりが本格化し、新幹線効果で交流人口の増加、定住人口の増加が大きいと期待されます。今後とも、「活力ある長崎づくり」に皆様方の声を反映して行きます。

本年も変わらぬご指導・ご鞭撻をお願いするとともに、皆様の「ご健康とご多幸」を祈念申し上げます。

長崎市議会議員 井上 重久

質問 地震時などに著しく危険な密集市街地の対応および周知方法は?

回答 指定を受けての対応は、防災意識の向上に向けて国土交通省からの公表があった、大浦・十善寺地域(68.5ha)、立山地域(67.3ha)、稲佐・朝日・水の浦地域(86.6ha)、江平地域(39.6ha)の4地区(262ha)の図面および地区内に含まれる町名を公表した。4地区に限らず、斜面市街地再生事業などによる道路の整備と併せ、老朽危険空き家対策事業、木造



稲佐山からのぞむ斜面密集市街地の大浦地区

一般質問・要旨
斜面密集市街地の対応について



平成24年度ながさき自治振興推進大会 (平成24年11月10日、長崎市公会堂)



MHIPEC労組長崎支部第1回定期大会 (平成24年11月2日、長船支部労働会館)



長崎市戦没者追悼式 (平成24年11月1日、長崎市公会堂)



三菱関連労連長崎地域連絡会第16回総会 (平成24年12月20日、長船支部労働会館)



社協立神支部「高齢者ふれあいサロン室」 (平成24年12月19日、旧立神小学校)



渡辺造船労組第33回定期大会 (平成24年12月8日、渡辺造船所従業員ハウス)

「岐阜市・秋田市」の現地調査報告!

長崎市議会スポーツ議員連盟は、11月14日(水)から16日(金)にかけて岐阜市・秋田市を訪問し、「国体開催までの取り組み状況」、「ソフト・ハード両面の取り組みにおける問題点」、「国体閉会後の施設の活用状況」などについて調査を行いました。岐阜・秋田市とも厳しい財政状況のなかで、国体のために新たな競技施設の建設をせず、既存施設の再配置や老朽化に伴う運動施設の整備拡充などで、「大会の充実・活性化」と「大会運営の簡素・効率化」を目指して運営がなされていきました。長崎市においても、「簡素な中にも心のこもった大会」「人々の心に残る魅力あふれる大会」を開催目標に掲げ、各種取り組みが進められ、ほぼ競技施設も平成24年度までには整備が進む予定です。

「長崎がんばらんば国体(第69回国民体育大会)」は、平成26年10月12日(日)から10月22日(水)までの11日間、「長崎がんばらんば大会(第14回全国障害者スポーツ大会)」は、平成26年11月1日(土)から11月3日までの3日間で開催されます。



岐阜市議会にて国体の取り組みなどを調査! (平成24年11月14日)



秋田市八橋運動公園入スポーツ施設を調査! (平成24年11月15日)

編集後記

▼新年明けましておめでとうございませう。表紙の写真は、さる12月19日四柱町の「あぐりの丘」にて撮影しました。干支の巳(蛇)の由来は、執念深いと言われる蛇ですが恩を忘れず、助けてくれた人には恩返しを行うと言われるいます。井上市議も、皆様の期待に応えるべき「探究心と情熱」をもって日常の苦情処理や議会活動など頑張ってもらいたい。

▼師走の総選挙結果は、自民党294議席で大勝、民主党57議席で大惨敗、日本維新の会54議席、公明党31議席、みんなの党18議席を獲得し、政党が乱立するなかでの「政権交代」となった。いつも選挙では、「誰々は大丈夫!」といわれるが、今回ばかりは惜敗をのむ結果となりました。しかし、最後まで諦めない気持ちが「高木義明」の比例復活当選に繋がったと思う。小選挙区での惜敗は、悔しい思いがあるが改革路線の政治を進めてほしいものです。



ご相談は お気軽に!

長崎市議会議員 井上重久

自 宅 長崎市大浜町408 ☎ 865-3553
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎ 861-1985
<http://inoueshigehisa.net/>

平成24年第5回定例会(11月議会)開催!

補正総額約9億6,715万円(特別会計含む)、63議案を可決・同意!



平成24年第5回長崎市議会定例会は、11月27日(月)に開会し12月14日(金)までの18日間の日程で開催されました。12月議会の補正予算は、世界新三大夜景情報発信事業(500万円)および新幹線整備推進事業(230万1千円)をはじめ施策の推進に係るもの、国・県の内示などに伴うもの(約1億1,705万8千円)、災害復旧などに係るもの(1,446万9千円)8億8,253万6千円の一般会計補正予算や、伊王島町の市有地に日帰り温浴施設を開業したいとする民間への土地処分議案などが可決されました。

補正予算の主な内容

- I 一般会計**
 - ◆基金積立金 ……8億8,253万6千円
 - ◆一般会計 ……5億2,106万9千円
 - ◆財政調整基金 ……5億747万円
 - ◆観光施設整備基金 ……1,359万9千円
 - ◆コンビニエンスストア収納管理運営費 ……1,078万7千円
 - ◆障害者施設福祉費就労継続支援費 ……2億4,172万円
 - ◆世界新三大夜景情報発信事業 ……1億591万8千円
- 業費 ……500万円**
 - ◆九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金 ……230万1千円
 - ◆消防団活動費災害防衛費 ……466万9千円
 - ◆職員給与費 ……5,098万9千円
 - ◆ひとり親家庭・寡婦医療対策費 ……3,876万円
 - ◆地方独立行政法人長崎市立病院機構費運営費負担金 ……9,150万7千円
 - ◆伝統的建造物群保存地区内建物等購入費 ……1億591万8千円

戸建て住宅の耐震補助事業など総合的な住環境の改善と防災性の向上に取り組んでいる。



壇上より大きく5点の質問を行う

指摘 ホームページを活用しての公表のみであり、指定を受けての県や関係部署との協議、避難経路の確保状況、避難場所・避難場所となる空き地の確認、建物の不燃化・耐震化の確認などはされていない。何らかの対応を関係先と連携をとり対処すべきであり、4地区住民に対して危険な密集市街地の周知を図ってもらいたい。

要望 現在、緊急車両の通行スペースの確保、防災性の向上など生活道路の整備など8地区において「斜面市街地再生事業」や老朽危険空き家対策事業、危険な空き家住宅の除去に有する経費も一部助成、耐震化工事などに最大130万円の補助があるが、住宅不燃化には補助がない。今後、不燃化・共同化への助成、規制誘導など「地域住民の意見を聞き」、国や県に対して新たな支援制度や助成などを働きかけ、対象地区の危険要因を取り除いてもらいたい。

再質問 自主防災組織の状況、防災訓練の実施状況や防災マップの作成状況は?
回答 自主防災組織の状況は、斜面市街地だけ見ると平均で約43%。防災訓練などの実施状況は、過去、立山地区や江平地区などで実施しており、本年3月には大浦小学校校区において地元自治会・消防団などが参加して、炊き出し訓練や避難訓練を実施している。防災マップは、斜面密集市街地を含めた全小学校区を対象に進めている。

再質問 自主防災組織の状況、防災訓練の実施状況や防災マップの作成状況は?
回答 自主防災組織の状況は、斜面市街地だけ見ると平均で約43%。防災訓練などの実施状況は、過去、立山地区や江平地区などで実施しており、本年3月には大浦小学校校区において地元自治会・消防団などが参加して、炊き出し訓練や避難訓練を実施している。防災マップは、斜面密集市街地を含めた全小学校区を対象に進めている。

長崎サミットとの連携にCSUP

質問 重点項目の取り組みおよび今後の課題は?

回答 外貨の獲得による地域経済の振興を目指して、産学官が連携して活動を進めている。基幹製造業は、客船受注を契機とした競争力強化に取り組む。現在人材育成事業を開始している。今後、予想される貨物や宿舍の確保などの課題にも取り組んでいる。観光は、おもてなし強化などの取り組み、外国人向けの観光案内板の設置やフェイスブックによる情報発信を進めている。

今後、長崎留学生支援センター開設へ向けた支援に取り組む。2020年の「世界に、日本に誇る国際都市長崎」の実現のため、ともに力を出し



本年より客船連続建造がはじまる長崎造船所(立神工場)

合い地域経済の更なる振興に取り組んでいく。

質問 総合特区指定に向けた取り組み概要と申請後の状況は?

回答 総合特区制度は、国際戦略総合特区と地域活性化総合特区があり、今回「ながさき海洋・環境産業拠点特区」として、地域活性化総合特区の指定申請を行った。柱となるのは、高付加価値船・省エネ船の建造促進、バラスト水浄化への対応など環境配慮型技術の船舶への活用、造船関連技術の海洋分野での活用が挙げられる。柱を支える取り組みは、高速船によるシーム

レス物流の実現、造船で培われた技術と海洋県としての地理的特性を活かした海洋エネルギーの実用化に向けた取り組みを進めることを目指している。

再質問 客船建造支援体制および平成25年度の取り組みは?

回答 技術者養成は、長崎県と連携をとり引き続き取り組んでいく。物流支援は、長崎港小ヶ倉柳地区で県が管理する倉庫について、客船貨物の利用が出来ないか物流業界との調整を行っている。宿舍・駐輪場は、長崎県や長崎市の活用が可能な公有地や公有施設について協議をしている。

国道202号の整備状況と(仮称)福田バイパスの早期事業化について

質問 一般国道202号の整備状況は?

回答 危険個所の整備状況は、大浜町の大迫バス停と大浜バス停間の曲線部は現在計画が見直されている。福田郵便局前交差点は歩道に設置されている電柱などにより歩行者空

間が狭くなっていることから、今年度より交差点改良と併せて歩道整備が計画されている。福田バス停から福田車庫前バス停間は安全対策として減速を促すための路面表示を設置する予定。今後の本格的な整備は、小浦舟津公園前交差点から福田郵便局前交差点間の約670mについて、交通安全対策事業として歩道整備が計画されている。

質問 (仮称)福田バイパスの取り組み状況は?

回答 「一般国道202号(福田バイパス)道路整備促進協議会」を昨年設立し、長崎県や国土交通省へ「道路予算の確保について」要望を行なった。県の見解は、多額の費用が必要であるため現時点では具体的な計画や整備手法も決まっていない。新規事業化に向けては、事業の必要性や優先度、費用対効果などが課題である。このため今年度は、一般国道202号の福田地区の通過する交通量の調査が実施され、観測データが取りまとめられている。今後の進め方など県と十分協議して行きたい。



歩行者空間が狭くなっている国道202号 福田本町(墓地付近)

要望 交通事故発生件数は、平成23年58件、うち歩行者が関係する事故は5件、平成24年11月10日現在では、事故件数34件、うち歩行者が関係する事故は4件発生し、危険要因も増している状況です。今後とも、道路予算の確保、調査費の計上を含め(仮称)福田バイパスの早期事業化に向けて、継続した要望活動を要請しました。

一般質問の内容は、井上重久ホームページ(議会報告)のなかに掲載していますので是非アクセス頂ければと思います。

自席から再質問および意見を述べる

